

病虫害発生予察 4 月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

令和4年4月の気象表 (長野地方気象台)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	9.6	12.5	14.7	6.0	37.0	55.0	85.2	66.3	56.7
	平年	8.4	10.7	12.8	18.7	19.4	18.8	66.4	65.7	67.3
松 本	本年	10.0	13.1	15.0	9.5	48.5	64.0	85.4	68.8	55.9
	平年	8.6	10.9	12.9	26.3	30.5	24.4	68.7	66.4	69.8
諏 訪	本年	9.1	12.7	14.7	12.0	41.5	75.5	86.0	66.5	52.3
	平年	8.0	10.1	12.0	30.3	35.7	26.8	69.7	66.7	68.0
軽井沢	本年	5.5	9.1	10.9	46.5	47.5	55.5	77.6	58.6	48.6
	平年	4.9	7.1	9.0	27.4	29.9	23.7	70.3	65.7	68.7
飯 田	本年	10.8	14.8	16.2	16.5	53.5	129.0	85.8	62.2	51.7
	平年	9.9	11.9	13.6	47.2	52.9	40.9	64.7	62.9	65.8

前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。後半の天気は数日の周期で変化し、前線や湿った空気の影響を受けて雨となる日が多くなり、大雨となった日もあった。月平均気温は南から暖かい空気が流れ込んだ日が多く、平年に比べ高くなった。

また、長野地方気象台は4月9日にソメイヨシノの開花を観測し、4月11日に満開を観測した。開花は平年に比べ2日早く、前年より11日遅かった。満開は平年に比べ5日早く、前年に比べ10日遅かった。

1 麦

(1) 生育概況

幼穂形成期は、大麦で平年に比べて7日、小麦で6日早かったが、莖立期は平年に比べて大麦で4日、小麦で5日遅かった。その後、4月の気温が平年に比べ高めに推移し、出穂期は大麦で2日、小麦で3日平年よりも早かった。

第1表 麦の生育状況

須坂市 (農業試験場作物部)

品種名	区分	幼穂形成期	莖立期	出穂期
ファイバースノウ (大麦)	平年	3/ 3	3/28	4/29
	前年	2/19	3/19	4/25
	本年 (平年差)	2/24 (-7)	4/ 1 (+4)	4/27 (-2)
シラネコムギ (小麦)	平年	3/17	3/27	5/ 5
	前年	2/25	3/19	5/ 5
	本年 (平年差)	3/11 (-6)	4/ 1 (+5)	5/ 2 (-3)

<耕種概要>播種期：大麦 令和3年10月20日、小麦 令和3年10月21日
(注) 平年値は過去7か年における最大値と最小値を除いた5か年の平均値。

(2) 病虫害の発生状況

①小麦の土壤伝染性ウイルス病 (コムギ縞萎縮病・萎縮病)

耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているが、罹病性品種作付ほ場の一部で、発生がみられた。

2 水 稲

(1) 病虫害の発生状況

①育苗期細菌性病害

全般には平年並の発生で推移している。

一部の地域では、籾枯細菌病の発生がみられた。している。

②苗立枯病

一部の地域でやや発生が多かったが、全般には平年並の発生で推移している。

③イネミズゾウムシ (越冬世代成虫)

4月の気温が平年より高く推移したため、アメダスの気温データを用いた有効積算温度による越冬地からの半数脱出推定時期は、多くの地点で平年に比べて早いと推定されている (5月18日現在)。

第2表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾 福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/14	5/10	5/19	5/11	5/ 8	5/17	5/ 9	5/25	5/11	5/16
本年 (平年差)	5/11 (-3)	5/ 5 (-5)	5/12 (-7)	4/28 (-13)	4/26 (-12)	5/ 7 (-10)	5/ 2 (-7)	5/24 (-1)	5/ 7 (-4)	5/17 (+1)

*2022年1月1日を起算日とし、5月17日までは本年のアメダスの気温データの実測値、半数脱出推定時期に達していない場合は、5月18日以降を平年値で予測。
*平年の推定時期は、過去10年間の気温データの実測値に基づく推定時期の平均。

3 りんご

(1) 生育概況

開花期は、平年と比べ4～6日早かった。落花期は、平年と比べて「ふじ」は1日早く、「シナノスイート」は1日遅かった。

第1表 りんごの生育状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
ふじ	平年	3/30	4/12	4/28	5/ 2	5/ 7
	前年	3/23	4/ 2	4/17	4/24	5/ 2
	本年 (平年差)	3/31 (+1)	4/10 (-2)	4/24 (-4)	4/28 (-4)	5/ 6 (-1)
シナノスイート	平年	3/31	4/13	4/28	5/ 2	5/ 8
	前年	3/23	4/ 1	4/18	4/26	5/ 3
	本年 (平年差)	4/ 3 (+3)	4/10 (-3)	4/22 (-6)	4/28 (-4)	5/ 9 (+1)

平年は1991年から2020年までの平均値。

(2) 病害虫の発生状況

①黒星病

4月下旬の巡回調査では、発生はみられなかった。
須坂市（果樹試験場）では、無防除樹における花そう葉での発病率は42.2%（5月7日時点）であった。果樹試験場内での子のう胞子の飛散は4月11日～15日に確認された。

②うどんこ病

一部の巡回調査ほ場で発生がみられたが、発生量は平年より少なかった。

③ハマキムシ類

4月下旬の巡回調査では、1ほ場で花そう葉への寄生がみられた。

④キンモンホソガ

須坂市内のフェロモントラップ調査では、越冬世代成虫の誘殺状況は平年並である。

第3表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（病害虫防除所）

月	4月						5月					
	半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
平年	0.0	0.0	0.3	1.2	2.3	1.8	1.9	1.2	0.6	0.2	0.6	3.2
前年	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	16
本年	0	0	0	4	4	6	5	1	0	1		

平年は2012年から2021年までの平均値。

4 なし

(1) 生育概況

発芽期は平年並～4日遅かった。開花期（盛）は平年と比べ6～7日早かった。落花期は4～5日早かった。

第1表 なしの生育状況

高森町（南信農業試験場）

品種名	区分	発芽期	鱗片脱落期	展葉期	開花期			落花期
					始	盛	終	
二十世紀	平年	4/ 1	4/ 9	4/14	4/18	4/20	4/26	4/29
	前年	3/22	3/30	4/ 4	4/ 6	4/ 8	4/15	4/18
	本年 (平年差)	4/ 1 (0)	4/ 8 (-1)	4/11 (-3)	4/13 (-5)	4/14 (-6)	4/22 (-4)	4/24 (-5)
幸水	平年	4/ 3	4/ 9	4/17	4/20	4/23	4/28	5/ 1
	前年	3/25	3/30	4/ 9	4/10	4/12	4/17	4/21
	本年 (平年差)	4/ 7 (+4)	4/10 (+1)	4/13 (-4)	4/15 (-5)	4/16 (-7)	4/23 (-5)	4/26 (-5)
豊水	平年	3/31	4/12	4/12	4/17	4/20	4/25	4/28
	前年	3/21	3/29	4/ 3	4/ 5	4/ 7	4/14	4/18
	本年 (平年差)	3/31 (0)	4/ 6 (-1)	4/10 (-2)	4/13 (-4)	4/14 (-6)	4/21 (-4)	4/24 (-4)

平年は2001年～2020年までの平均値。

(2) 病害虫の発生状況

①黒斑病

巡回調査ほ場で発生はみられなかった。
高森町（南信農業試験場）では、4月第5半旬以降の胞子形成度、補足胞子数は急激な増加でないものの、前年に比べやや早めに推移している。
また、果実及び新梢葉の発病は5月15日に確認された。

第2表 越冬病斑上の胞子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	14.8	9.6	20.0	15.2	27.7	22.8	24.3	20.8	40.0	32.8	35.7	47.5
前年	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	6.7	4.2	3.3	0.0	5.0	23.3	40.0
本年	0.0	0.0	3.3	8.3	15.0	0.0	0.0	3.3	3.3			

平年は2012年から2021年までの平均値。
値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態。

第3表 アルタナリア属菌の捕捉胞子数 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.6	0.8	0.9	1.7	2.9	2.4	3.1	3.9	4.8	9.1	6.7	14.1
前年	-	0	1	3	9	0	8	13	1	3	6	26
本年	0	1	1	2	7	7	0	2	2			

平年は2012年から2021年までの平均値。18mm×18mm当たりの胞子数（個）。

第4表 果実の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.0	0.9	1.8	4.2	8.3
前年	0.0	0.0	9.0	15.4	9.4	16.4
本年	0.0	0.4				

平年は2012年から2021年までの平均値。

第5表 新梢葉の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.1	2.0	3.6	7.2	15.6
前年	0.0	0.0	17.0	13.2	18.9	31.6
本年	0.0	1.6				

平年は2012年から2021年の平均値。

②黒星病

5月上旬の巡回調査では、果実への感染が5ほ場のうち2ほ場でみられた。高森町（南信農業試験場）では、4月第3半旬から子のう胞子の飛散が確認され、前年に比べやや早めに推移している。

また、南信農業試験場の殺菌剤無散布樹（二十世紀）では、果実の発病は5月5日に確認され、果そう葉の発病は5月15日に確認された。

第6表 ナシ黒星病 子のう胞子飛散消長 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	11	181	430	1,635	5,307	2,341	3,845	3,659	1,458	1,966	763	333
前年	0	0	47	10	0	96	98	223	811	13,487	5,752	648
本年	0	0	3	27	109	1,423	378	574	1,733			

平年は2012年～2021年までの平均値。罹病葉から飛散する子のう胞子数。

第7表 果実の発病 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月			6月		
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	1.6	12.6	26.5	29.4	34.3	43.8	47.9
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	11.2	5.5
本年	0.0	1.0	27.4				

平年は2012年から2021年までの平均値。「幸水」殺菌剤無散布樹で調査。

第8表 果そう葉の発病 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月			6月		
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	1.4	5.3	18.6	35.3	49.7	58.3
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	9.1	12.9
本年	0.0	0.0	2.1				

平年は2012年から2021年までの平均値。「幸水」殺菌剤無散布樹で調査。

③赤星病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

④輪紋病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

⑤ハマキムシ類

巡回調査ほ場では、寄生はみられなかった。

⑥クワコナカイガラムシ類

高森町(南信農業試験場)における発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシの越冬卵のふ化完了予測日は、5月9日で平年及び前年と比べ早かった。

第9表 発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシ越冬卵のふ化完了予測日
高森町(南信農業試験場・標高560m)

年次	本年	平年	前年	2年	元年	30年
完了予測日	5/9	5/20	5/19	5/22	5/21	5/14

平年は2001年～2020年までの平均気温による予測日。

⑦ナシヒメシンクイ

高森町(南信農業試験場)のフェロモントラップ調査では、4月第3半旬に平年よりやや多く誘殺された。

第10表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長(頭)
高森町(南信農業試験場)

月 半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	1.0	2.4	1.7	2.4	5.8	4.5	4.8	1.9	1.3	1.4	0.6	0.1
前年	4.0	6.0	4.5	2.0	0.5	0	1	1.5	0	0	0.5	0
本年	1	5	8	5	2	0	1.5	1.5				

平年は2012年～2021年までの平均値。

5 **もも**

(1) 生育概況

満開期は、平年と比べ白鳳は3日早く、川中島白桃は平年並で、秀峰(ネクタリン)は2日早かった。

第1表 ももの生育状況 須坂市(果樹試験場)

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
白鳳	平年	3/30	4/21	4/18	4/24	5/2
	前年	3/24	4/13	4/8	4/15	4/22
	本年 (平年差)	3/31 (+1)	4/14 (-7)	4/15 (-3)	4/21 (-3)	4/27 (-5)
川中島白桃	平年	3/30	4/21	4/18	4/24	5/3
	前年	3/22	4/15	4/5	4/17	4/30
	本年 (平年差)	4/4 (+5)	4/17 (-4)	4/17 (-1)	4/24 (±0)	4/28 (-5)
(ネク タリン) 秀峰	平年	3/28	4/19	4/16	4/21	4/30
	前年	3/24	4/5	4/3	4/13	4/19
	本年 (平年差)	3/28 (±0)	4/14 (-5)	4/13 (-3)	4/19 (-2)	4/27 (-3)

平年は1991年から2020年までの平均値。

白鳳は2009年から、川中島白桃は2019年から、秀峰は2008年から調査樹更新。

(2) 病害虫の発生状況

①灰星病

巡回調査では、10か所のうち4ほ場で花腐れの発生がみられた。

②せん孔細菌病

巡回調査では、春型枝病斑が10か所のうち3ほ場で発生がみられたが、前年より発病枝率は低かった。

③モモハモグリガ

巡回調査では、幼虫の寄生葉はみられなかった。

フェロモントラップによる誘殺消長調査では、4月第6半旬に初誘殺された(第2表)。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長(頭)

月 半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.3	0.3	0.0	16.3	29.7	8.8	7.6	2.0	1.9	0.8	1.1	2.0
前年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
本年	0	0	0	0	0	11	0	0	1	0		

平年は2012年～2021年までの平均値。

④ナシヒメシンクイ

巡回調査では、芯折れの発生はみられなかった。

⑤カメムシ類

巡回調査では、果実被害はみられなかった。

6 **ぶどう**

(1) 生育概況

発芽は、平年と比べ2日早く、展葉は、平年と比べ1日早かった。

第1表 ぶどうの生育状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
巨峰	平年	4/27	5/ 3	6/ 8	6/11	6/14
	前年	4/24	5/ 2	6/ 7	6/10	6/14
	本年 (平年差)	4/25 (-2)	5/ 2 (-1)			

平年は1991年～2020年までの平均値。

7 **野菜**

(1) 病害虫の発生状況

①施設野菜（トマト・きゅうり）の病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

②アスパラガスの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

③たまねぎの病害

中信地域の巡回調査ほ場で、べと病の発生がみられたが、発病株率は前年より低かった。

④きくの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

⑤アザミウマ類

巡回調査では、南信地域のきゅうり（施設・半促成栽培）の調査ほ場で寄生がみられた。

青色粘着トラップによる誘殺消長調査では、塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）において4月第5半旬に、諏訪郡富士見町（防除適期決定ほ）において4月第3半旬に初誘殺された（第1表）。

第1表 青色粘着トラップによるアザミウマ類誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0
		本年	0	0	0	0	1	2
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	0.0	0.2	0.4	0.6	0.6	1.8
		本年	—	—	10	0	7	0

平年は2017年から2021年までの平均値。

⑥アブラムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

黄色粘着トラップによる有翅虫の飛来消長調査では、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）、小諸市山浦（県発生予察ほ）では4月第2半旬に、富士見町（防除適期決定ほ）の調査では4月第3半旬に、塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）では4月第5半旬に初誘殺された。（第2表）。

第2表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫飛来消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.3	0.3	0.5	0.8	0.5
		本年	0	1	1	0	0	2
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.2	0.4	0.6	1.6	2.0	3.0
		本年	0	1	3	1	2	2
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.3	0.0	0.0	1.0	0.8	1.4
		本年	0	0	—	0	2	3
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	0.0	0.0	0.0	1.0	1.6	2.0
		本年	—	—	4	2	2	9

平年は2017年から2021年までの平均値。

⑦ナモグリバエ（レタス）

巡回調査では寄生はみられなかった。

黄色粘着トラップによる誘殺消長では、小諸市山浦（県発生予察ほ）では4月第3半旬に急増した。（第3表）。

第3表 黄色粘着トラップによるナモグリバエ誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	1.3	2.0	3.0	4.3	4.8	5.8
		本年	0	1	23	4	17	16
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	3.5	1.5	1.5	4.0	3.0	3.0
		本年	1	0	—	3	7	1
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	7.0	1.0	4.5	0.0	0.5	3.0
		本年	—	—	4	2	3	6

平年は、小諸市は2018年から2021年までの平均値、塩尻市及び富士見町は2019年から2021年までの平均値。

⑧コナガ (アブラナ科野菜)

巡回調査では寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる誘殺消長調査では、諏訪郡原村(防除適期決定ほ)では4月第1半旬に、上田市、朝日村、長野市(いずれも地区発生予察ほ)では、4月第4半旬に初誘殺された。

なお、塩尻市宗賀及び小諸市山浦(いずれも県発生予察ほ)とも、3月第5半旬に初誘殺されており、4月の誘殺は、小諸市山浦では平年に比べ若干高め、塩尻市宗賀ではほぼ平年並であった。(第4表)。

第4表 フェロモントラップによるコナガ誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	1.3	0.9	1.2	3.0	4.9	7.0
		本年	0	0	1	1	0	8
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	1.5	1.1	2.0	3.2	5.0	3.3
		本年	0	5	7	7	10	7
上田市 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.8
		本年	—	0	0	1	1	3
諏訪郡原村 (防除適期決定ほ)	ブロッコリー	平年	0.0	0.0	1.0	0.0	4.8	4.3
		本年	1	0	2	1	9	8
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.3	0.7	0.0	1.3	5.5	3.5
		本年	0	0	0	1	3	5

長野市 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.3
		本年	0	0	0	1	3	5

平年は、2012年から2021年までの平均値。朝日村は2019年から2021年までの平均値。

⑨ハダニ類

巡回調査では、南信地域のきゅうり(施設・半促成栽培)で寄生がみられた。

⑩オオタバコガ

4月の巡回調査では、寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、塩尻市宗賀(県発生予察ほ)は4月第5半旬に、小諸市山浦(県発生予察ほ)は4月第6半旬に初誘殺された(第5表)。

第5表 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
		本年	0	0	0	0	1	3
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
		本年	0	0	0	0	0	3

平年は、2012年から2021年までの平均値。